

2018-2-18

“街道テクテク中山道” (STF 関連) No. 7

参加者：碓貴臣、佐熊範和、黛政男、太田哲夫、後藤幸子、政芳一、矢崎文彦、高野泰三郎、松下隆、横山修一、矢崎文彦、山岸任、三木和幸、木村芳一

行程：熊谷→深谷 12km

熊谷駅（熊谷直実像）→高城神社（青銅製常夜灯、樹齢 800 年のケヤキ）→熊谷寺（熊谷直実の墓）→八木橋デパート（建物の東口から西口の間が旧中山道）→松巖寺→八坂神社→新島の 1 里塚（日本橋より 17 里、樹齢 300 年のケヤキ）→魔多利神石塔→忍領石標（従是南忍領、忍城があった忍藩領の堺）→新照寺（石仏石塔群）→浅間神社→観音堂→御嶽神社→見返りの松（遊女との別れを惜しんだ）→深谷宿常夜燈→大谷邸（和洋折衷の建物）→東源寺→長福寺→深谷駅近くの居酒屋で反省会→深谷駅

・熊谷駅北口の壁面の絵画の前で全員集合の写真を撮った。熊谷直実公の像を見ながら出発した。

・一日中、強い風が吹き付ける中を歩いた。夕方には日が陰って、寒さもさらに加わり、非常に疲れ果てた。深谷駅近くの居酒屋での暖が有難かった。

・深谷駅近くの唐沢川が深い谷を形成しており、それが深谷の地名になったということであったが、それほど深い谷ではなかった。

・今回のコースの中で、高城神社の樹齢 800 年のケヤキ（写真）、新島 1 里塚の樹齢 300 年のケヤキの大木が見られた。木には大きな空洞があったが、それでもしっかり生命を維持していた。高樹齢の木は神々しさを感じさせる。

・深谷駅は、東京駅の赤レンガ駅舎を模して、コンクリート壁面にレンガ風のタイルを貼ったものである。深谷で製造されたレンガが東京駅まで鉄道輸送され、東京駅の駅舎に使用されたことに因っている。深谷がネギだけでなくレンガでも有名であったということである。

